



美しい 県土づくりNEWS

目次

- 1 平成 28 年度県土整備部の体制について
- 4 一般国道 4 号「盛岡北道路」開通
- 6 冬期通行止め区間の除雪が進んでいます
- 8 JAL花巻ー福岡線 搭乗者10万人を達成
- 9 いわて花巻空港旅客ターミナルビル増改築工事が完了し、供用を開始
- 10 中華航空孫会長、台湾旅行社代表御一行が来県
- 11 高田松原津波復興祈念公園基本設計策定に向けた検討が進んでいます
- 13 東北「道の駅」スタンプラリー2016 開催のお知らせ
- 14 「EE東北'16」開催のお知らせ

2016年

4月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 141 号
平成 28 年 4 月 28 日発行
編集 県土整備企画室



2016
希望郷

第16回全国障害者スポーツ大会

いわて大会

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

4月14日以降発生した熊本地震につきましては、犠牲となった方の御冥福をお祈りするとともに、未だ不安な生活をされている住民の方々、日夜、復旧に向け対応されているの方々へお見舞いを申し上げます。

岩手県では、「岩手県応援本部」を設置し、現地ニーズに応じた支援を行っており、県土整備部からは、被災した住宅の調査、応急仮設住宅整備などを支援するため、職員が現地に赴き対応に当たっています。

熊本地震に対する本県の対応状況については、ウェブサイト「いわて防災情報ポータル」にて公開しています。

<https://iwate.secure.force.com>（「対応状況」の項目）



4月22日に県土整備部から第1陣6名が出発

平成 28 年度 県土整備部の体制について

震災から5年。県土整備部は、「復興」と「ふるさと振興」を推進し、希望郷いわてを実現するため、社会資本の整備等に取り組んで参ります。

4月1日から、及川隆県土整備部長が就任し、全国から派遣いただいた77名の応援職員と、新たに採用された62名の職員を加え、総勢855名の体制でスタートしたところです。

今年度の幹部職員、応援職員の受入状況について次ページからご紹介いたします。



県土整備部長室にて。

（左から、

八重樫弘明 河川港湾担当技監
中野穰治 技監（道路都市担当）
及川隆 県土整備部長
平野直 副部長）

県土整備部 幹部職員をご紹介します

県土整備部長 及川 隆 (おいかわ たかし)

| | | | |
|----------------|--|---------|----------------|
| 出身地 | 奥州市前沢区 | 休日の過ごし方 | 妻と買い物などに出かけること |
| 趣味 | 今はあまりしなくなったテニスとスキー、あまり聞かなくなった ZARD | 座右の銘 | 君子慎独 |
| 取り組んだこと・苦労したこと | 不要論のあったダム事業の必要性や効果を説明するための資料を、本庁・事務所一体となって作成し、事業を推進してきたこと | | |
| メッセージ | <p>東日本大震災津波から6年目を迎えた今もなお、多くの方々が応急仮設住宅等で不自由な暮らしをされており、一日も早い復興を成し遂げるとの「強い思い」を持って、安心して暮らせる安全なまちづくり、住まいづくりに取り組みましょう。</p> <p>産業や観光といったふるさと振興を支える社会基盤の整備など、未来に繋がる仕事を担うという「高い志」を持って取り組みましょう。</p> <p>復興とふるさと振興による希望郷いわての実現に向けて、職員一丸となり「信頼と優しさ」を持って取り組んでいきましょう。</p> | | |

技監（道路都市担当） 中野 穰治 (なかの じょうじ)

| | | | |
|---------|---|----------------|--|
| 出身地 | 福岡県 | 得意なこと | 粘り強く諦めないこと |
| 趣味 | 釣り、ゴルフ | 苦手なこと | 嘘をつくこと（方便） |
| 休日の過ごし方 | 趣味を楽しみたいが、単身赴任の週末は意外と忙しい(^_^); | 愛読書 | 東野圭吾 |
| 座右の銘 | 「一隅を照らす」 最近いいなと感じた言葉：「走った距離は自分を裏切らない」 | 取り組んだこと・苦労したこと | 宮崎県庁時代の東九州道の用地対策。代執行に至る直前で任意立ち退きをいただき、結果として供用目標を遵守できたこと。 |
| メッセージ | <p>復興、創生を支えるインフラ整備に少しでもお役に立てるように頑張りたい。</p> <p>計画どおりに事業を進めることは大切なミッションであるが、そのことだけに囚われないようにしたい。インフラの計画は地域の意思である。どういう地域にしたいのか、次の世代にどういう暮らしをしてもらいたいのか、何のためのインフラなのか、当たり前の原点を常に忘れないように意識していきたいです。</p> | | |

副部長 平野 直 (ひらの なおし)

| | | | |
|---------|---|----------------|---|
| 出身地 | 北上市 | 得意なこと | 動くこと |
| 趣味 | 近隣市町村探訪（イベント、温泉、食事）、自転車、ランニング | 苦手なこと | 待つこと、じっとしていること |
| 休日の過ごし方 | 同上 | 愛読書 | ノンフィクション、サイエンス、歴史 |
| 座右の銘 | Now or Never | 取り組んだこと・苦労したこと | <ul style="list-style-type: none"> ・ IGRいわて銀河鉄道の設立・運営に携わり、貨物線路使用料の交渉を成功に導き、黒字経営に転換させたこと ・ 田野畑村助役時代の悪戦苦闘 |
| メッセージ | <p>県土整備部のパフォーマンスが最大限発揮されるよう後方支援します。</p> <p>① 職員一人ひとりが働きやすく、力が発揮できる職場環境の整備</p> <p>② 各室課・センターの取組が効率的かつ円滑に進むよう庁内各部局及び関係機関との連絡調整</p> <p>③ 県土整備部の取組・成果が適正に評価され、県民に知られ喜ばれるよう周知、広報</p> <p>個人的には、今年度、スポーツ系の大会に3回以上出場することを目指します。</p> | | |

河川港湾担当技監 八重樫 弘明 (やえがし ひろあき)

| | | | |
|---------|---|----------------|---|
| 出身地 | 岩手町（沼宮内） | 得意なこと | 乾杯のビール銘柄当て |
| 趣味 | 食べ飲みなど | 苦手なこと | 短い挨拶（いつも及川部長からは「短く、短く」と御教示あり） |
| 休日の過ごし方 | 朝散歩やゴルフ打ちっぱなし、実家の草取り | 愛読書 | ジョジョの奇妙な冒険、風の大地（いずれも漫画でした） |
| 座右の銘 | 努（つと）むるは好むに如（し）かず、好むは楽しむに如かず | 取り組んだこと・苦労したこと | <p>平成4年度：木賊川遊水地事業の全体計画認可</p> <p>平成5年度：南川都市小河川改修事業の全体計画認可</p> <p>平成7年度：河川情報システム整備の県単予算確保</p> |
| メッセージ | <p>座右の銘は、「どうせやるなら好きになってしまえば良い、それよりも、楽しんでやればもっと良い」という意味です。</p> <p>震災からの復旧・復興は、だれも経験したことのない大事業。そして、社会基盤整備や維持管理、自然災害対策など、どれも県民生活に直結する大事な仕事。なにかと辛い局面もやってくると思いますが、みんなであつ楽しんでやれば良いなあと思っています。よろしくお願いします。</p> | | |

他県等派遣応援職員と共に復興に取り組みます

平成 28 年 4 月、全国 18 都府県市及び民間企業から 77 名の力強い応援職員が県土整備部に加わりました。

県土整備部の激励式には、本庁に勤務いただく応援職員が出席し、及川県土整備部長の激励の言葉の後、応援職員を代表して、都市計画課に配属される須藤主査（東京都から派遣）が本格復興完遂への決意を述べました。

応援職員の派遣元は、北は青森県、南は福岡県と全国から集まっただき、特に大阪府及び長野県からは 10 名を超える応援をいただいています。

応援職員は、本庁では、土地区画整理事業や防災集団移転促進事業などの面整備を主に担当する都市計画課や災害公営住宅などの整備を担当する建築住宅課に配属されます。

広域振興局土木部等では、津波による被害が特に大きかった沿岸南部を中心に配属され、防災のまちづくりを進めるための災害復旧業務や用地取得業務などを担当されます。

激励式の様子(4月1日 本庁会議室にて)



応援職員内訳 (派遣元団体別)

| 派遣元団体名 | 人数 |
|--------|----|
| 大阪府 | 20 |
| 長野県 | 11 |
| 静岡県 | 9 |
| 東京都 | 9 |
| 神奈川県 | 5 |
| 福岡県 | 4 |
| 埼玉県 | 3 |
| 青森県 | 2 |
| 栃木県 | 2 |
| 山梨県 | 2 |
| 高知県 | 2 |
| 和歌山県 | 1 |
| 愛知県 | 1 |
| 新潟県 | 1 |
| 島根県 | 1 |
| 山口県 | 1 |
| 川崎市 | 1 |
| 大阪市 | 1 |
| 民間企業 | 1 |
| 計 | 77 |

応援職員内訳 (配属先別)

| | 所属名 | 人数 |
|----|-------------|----|
| 本庁 | 都市計画課 | 6 |
| | 建築住宅課 | 13 |
| | 小計 | 19 |
| 出先 | 北上川流域下水道事務所 | 1 |
| | 沿岸広域振興局土木部 | 14 |
| | 宮古土木センター | 17 |
| | 岩泉土木センター | 1 |
| | 大船渡土木センター | 21 |
| | 県北広域振興局土木部 | 4 |
| | 小計 | 58 |
| | 合計 | 77 |



県土整備部 職種別職員数

| 職種 | 人数 |
|--------|-----|
| 土木職 | 473 |
| 建築職 | 72 |
| その他技術職 | 39 |
| 事務職 | 240 |
| 運転技士 | 31 |
| 計 | 855 |

一般国道4号「盛岡北道路」開通

4車線化により、茨島こ線橋～分れ南交差点間の渋滞緩和に寄与

道路建設課

平成28年3月26日(土)、国、県、盛岡市、滝沢市の共催による一般国道4号「盛岡北道路」開通式が滝沢市滝沢ふれあい交流館にて開催されました。

式典では、主催者あいさつに続き、来賓の国会議員の方々からお祝いの言葉をいただきました。

前の南巣子自治会長の澁谷文人様からは、「地域の声」として、「1日3万台の交通があり、分れ南交差点から抜け道として、私たちの住む駅前、巣子、長根地区の生活道路が使用されてきた。小中学校、高校、大学の通学路にもなっており、危険な状態であった。開通は地域の長年の悲願であり、皆が喜び安心している。渋滞の緩和や安全安心な地域になると期待している。」とのメッセージをいただきました。



澁谷 前南巣子自治会長

その後、来賓の方々のほか、地元小学校の皆さんも加わり、開通のテープカットとくす玉開きが行われ、盛岡北道路の現地での4車線開通の状況が生中継されました。

会場では、事業概要や整備効果を紹介するパネルが展示され、事業の理解を深めたほか、式典開始前に滝沢山車まつり実行委員会の皆さまによる音頭上げが披露され、式典を盛り上げていただきました。



テープカットとくす玉開き



式典会場での開通状況の生中継



パネル展示



滝沢山車まつり音頭上げ

一般国道4号盛岡市厨川の茨島こ線橋から滝沢市巢子の分れ南交差点間は、2車線区間のボトルネックとなっていたため、慢性的な交通混雑や事故が多発しており、平成19年度に国土交通省により当該区間の4車線化が事業化されました。



上下線分離区間 下り線（開通後）



拡幅区間 巢子市街地（開通後）

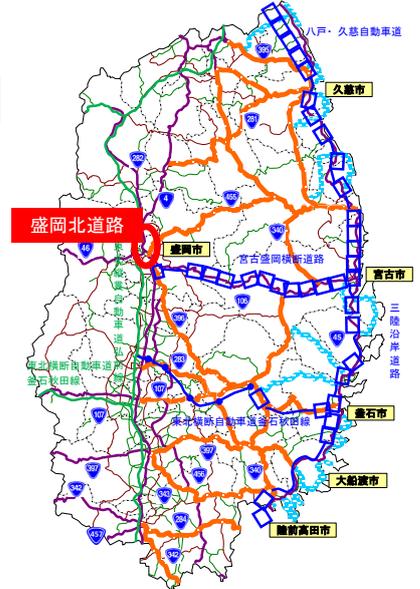
本事業では、**事業化前の構想段階から地域住民の方々の意見を取り入れる「パブリック・インボルブメント」が全国に先駆けて実施され、現存する松並木や岩手山の眺望、周辺の動植物など、景観や自然環境に配慮したみちづくり**を目指して整備が進められました。

開通により、渋滞の緩和、**定時性の向上、緊急時・災害時の信頼性の確保**などの直接的な効果のほか、**産業振興や観光振興**などの様々なストック効果が期待されます。

開通により、渋滞の緩和、**定時性の向上、緊急時・災害時の信頼性の確保**などの直接的な効果のほか、**産業振興や観光振興**などの様々なストック効果が期待されます。

▼ 盛岡北道路の概要

- **計画延長** 3.6 km
- **計画幅員** 上下線分離区間 12.5m×2 【上り線下り線各2車線】
拡幅区間 28.5m 【4車線】
- **全体事業費** 約 54 億円
- **事業者** 国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所
- **主な事業経緯**
 - ・平成9年度～平成12年度 構想段階 PI（パブリック・インボルブメント）
 - 国道4号盛岡・滝沢道路懇話会（H10.3～H13.3 計8回）
 - 巢子地域まちづくり協議会（H11.11～H13.3 計6回）
 - 地域住民や道路利用者へのアンケート調査実施（H10.9）
 - ・平成19年度 事業化
 - ・平成20年度 都市計画決定（変更）
 - ・**平成28年3月26日 4車線化開通**

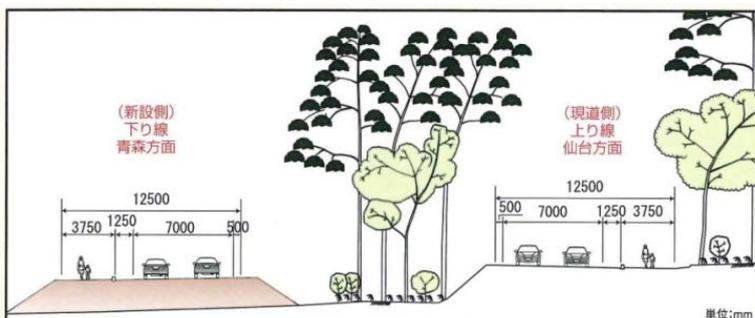


【位置図】

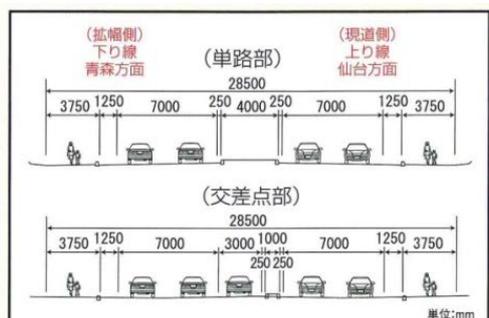


【標準横断面図】

上下線分離区間（松並木区間）



拡幅区間（巢子市街地）



冬期通行止め区間の除雪が進んでいます！

道路環境課

岩手県では、春の訪れと共に、積雪により冬期通行止めとなっていた22路線34箇所について、開通に向けた作業を行っています。

そのうち、『八幡平アスピーテライン』では、観光PRと観光客の増加による地元への経済波及効果を期待し、4月15日（金）に岩手・秋田両県の同時開通、4月22日には「八幡平樹海ライン」の開通を行いました。

この開通に合わせて、4月15日から5月31日まで「桜と雪の回廊観光キャンペーン」が開催されており、八幡平山頂を周遊する雪の回廊を楽しめます。



八幡平アスピーテライン 雪の回廊



八幡平アスピーテライン開通式(平成28年4月15日 松尾八幡平ビジターセンターにて)

主な冬期通行止め区間の状況（4月28日時点）

| 路線名 | 延長(km) | 開通予定日 |
|---------------------------------------|--------|--|
| 主要地方道 大更八幡平線 (八幡平アスピーテライン) | 10.6 | 4月15日開通 ※当分の間夜間通行止め(17:00~翌日8:30) |
| 一般県道 八幡平公園線 (八幡平樹海ライン) | 16.2 | 4月22日開通 ※当分の間夜間通行止め(17:00~翌日8:30) |
| 一般国道 397号 (奥州市胆沢区若柳~秋田県東成瀬村岩井川野尻) | 19.7 | 5月中旬開通予定 |
| 一般国道 342号 (一関市巖手町真湯温泉口~秋田県東成瀬村松山台) | 14.9 | 4月26日正午開通 ※当分の間夜間通行止め(17:00~翌日9:00) |
| 一般県道 夏油温泉江釣子線 | 5.8 | 4月28日開通 |

桜と雪の回廊キャンペーン (4/15~5/30)



八幡平市観光協会ホームページには「桜と雪の回廊観光キャンペーン」のほか**桜の開花情報**や**見所スポット**が掲載されています。また、八幡平市周辺の観光施設を巡るスタンプラリーも行っており、抽選で特産品が当たります。

お出かけの前に一度チェックすると、より八幡平エリアを楽しむことができます。詳細は八幡平市観光協会ホームページをご確認ください。

<http://www.hachimantai.or.jp/>

また、国道 342 号、夏油温泉江釣子線の開通により岩手の秘湯須川温泉、夏油温泉に春が訪れ、国道 397 号の開通により焼石連峰の春を楽しむことができます。

5月の連休はお花見と春の雪山へ出かけてみてはいかがでしょうか。

冬期通行止め区間の早期開通に取り組んでいます

冬期通行止め区間は、除雪作業の他、ガードレール、カーブミラー等の道路安全施設の取付作業及び雪崩等に対する安全を確認しながら、早期に開通できるように作業を進めていきます。

開通予定日については、今後の気象条件等によって、遅れる場合がありますのでご了承願います。



一般国道 397 号の除雪状況

冬期通行止めの解除予定などの通行止め情報は、道路環境課のホームページでお知らせしています。

ホームページアドレス：<http://www.douro.com/>

JAL花巻—福岡線 搭乗者10万人を達成！！

空港課

3月28日(月)花巻—福岡線搭乗者10万人を達成し、記念セレモニーが開催されました！！

いわて花巻空港に福岡発JAL3523便が13時10分無事到着。記念すべき10万人目のお客様小玉美古都(みこと)さんをお迎えし、花巻空港にて記念セレモニーが行われました。

小玉さんには、(株)ジェイエアの武田英明機長から記念品のJALモデルプレーンが手渡され、到着した乗客の皆様には、花巻産リンゴジュース、南部型染めコースターなどの記念品をお渡ししました。



福岡線10万人達成記念セレモニーの様子

花巻—福岡 路線について

🌀 搭乗者10万人までの道のり

花巻—福岡路線は平成8年に路線開設。平成19年に休止となったものの、(株)ジェイエアが東日本大震災からの復興を願い平成24年3月再運航開始となりました。再運航から4周年の今年、搭乗者10万人を達成しました。

🌀 福岡便を利用しよう！

現在は1日1便のみの運航ですが、日本の北と南を2時間で移動できるのが大きな魅力です。あっという間の時間ですので体への負担も少なく、ビジネス利用や観光旅行に便利です。いわて花巻空港出発時刻が13:40発(平成28年上期ダイヤ)と沿岸部や空港までの距離が遠い地域の皆様にも利用しやすい時間となっています。

天候が良ければ上空から、東北～九州にかけて素晴らしい景色を眺めることができます。ビジネスでご利用の方にはひとときの安らぎを、旅行でお出かけの方には素晴らしい思い出をお届けできる路線です。

どうぞ花巻—福岡線をご利用ください！



花巻からたった2時間で福岡へ



いわて花巻空港旅客ターミナルビル 増改築工事が完了し、供用を開始

空港課

国際線施設の充実により国際チャーター便運航時の混雑を解消するなど利便性が向上！！

4月12日(火)、台湾からの国際チャーター便が今年度初めて到着するのに合わせ、新しく完成した国際線チェックインロビーにていわて花巻空港旅客ターミナルビルの供用開始式を開催しました。

式典では達増拓也知事から、「増改築工事により国際線の利用環境が格段に向上したことから、国際定期便化に向けて大きな弾みがつく」と挨拶を述べました。

その後、田村誠岩手県議会議長と上田東一花巻市長に祝辞を頂き、小関空港事務所長から工事概要を説明した後、テープカット及びくす玉開披を行いました。



知事と御来賓の皆様によるテープカットとくす玉開披の様子

今回の工事により、旅客搭乗機1基を増設して国際チャーター便が国内定期便2便と重なった場合でも受入可能となったほか、国際チャーター便運航時の混雑を解消するため国際線施設を充実して利便性向上を図るなどビル機能が大きく向上しました。

このことを、台湾との国際定期便化に向けて弾みにするとともに、台湾はもとより東アジアの他の国との国際チャーター便の運航拡大にも取り組んでいきます。



増築により初めて実現した国際チャーター便と国内定期便3便が同時駐機する様子

空港ターミナルビル増改築工事の概要

(1) 増改築工事の概要【岩手県施工】

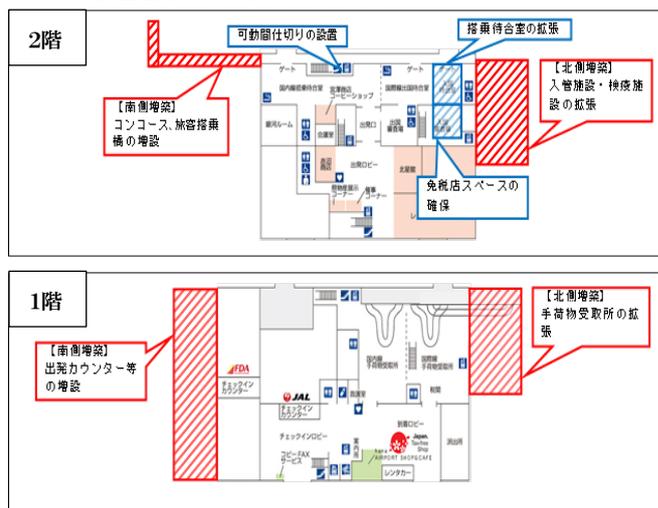
- ① 総事業費：約 12 億円
- ② 工事期間：平成 26 年 12 月 27 日～平成 28 年 2 月 29 日
(平成 27 年 11 月～平成 28 年 3 月国際線受入休止)
- ③ 供用開始：平成 28 年 4 月 1 日
- ④ 増築面積：約 1,600 ㎡(既存面積 8,027 ㎡)
・南側増築：チェックインカウンター・ロビー、航空会社用事務室、旅客搭乗橋 1 基増設など
・北側増築：入管・検疫施設拡張、手荷物受取所・搭乗待合室拡張、免税店スペース確保など

(2) 本体工事に付随して実施する

旅行者が満足できる環境づくり【空港ターミナルビル(株)実施】

- ・免税店設置、国際線搭乗待合室の整備、外国人接客対応の強化等

(3) 工事概要図(赤:増築、青:改修)



中華航空孫会長、台湾旅行社代表御一行が来県

空港課

4月12日台湾チャーター便でご到着 歓迎セレモニーを行いました

前日の雪模様から一転、青空の広がる穏やかな春の日ざしの中、平成28年度初便となる台湾チャーター便が到着。中華航空孫洪祥会長及び台湾旅行社代表の皆様をお迎えし、空港ターミナル内にて歓迎セレモニーを行いました。

達増知事と共に台湾交流マスコット「ばおっち」らがお出迎え。記念品の南部鉄器「曳舟(ひきふね)」をお渡ししました。孫会長からは「岩手の皆さんも台湾に来てほしい」との御言葉を頂きました。

その後、孫会長御一行は八幡平市などへ観光に向かい、2泊3日の行程で岩手県観光を楽しまれました。



知事と孫洪祥会長(左から4人目)と幹部の皆様



平成28年度初の台湾チャーターが10:15到着!!

知事との懇談 歓迎レセプション

花巻市内のホテルにて知事ら岩手県側と中華航空孫会長、幹部の皆様、台湾旅行社代表の皆様との懇談が行われました。孫洪祥会長からは「今年度の実績により平成29年度に台湾と花巻間の季節定期便を運航したい」との意向を示されました。

台湾を経由して釜山、仁川(韓国)や香港、上海(中国)などへ向かうことができるため(平成28年4月現在)、ビジネス利用の幅も広がります。

現在、花巻⇄台湾はチャーター便を運航していますが、季節定期便になると、運航本数が増え観光旅行に行きやすくなるほか、

夜には、花巻市内ホテルにて知事、県議会議員及び観光関係者らによる歓迎レセプションを開催し、賑やかに交流を深めました。



懇談会の様子



高田松原津波復興祈念公園 基本設計策定に向けた検討が進んでいます

都市計画課

陸前高田市高田松原地区を対象に整備を計画している復興祈念公園について、県では、復興庁、東北地方整備局及び陸前高田市と連携して基本構想・基本計画を検討してきました。

公園の具体的な基本設計等を検討するため、平成27年8月に、学識経験者等で構成する有識者委員会を設置しました。平成28年3月29日に開催した第2回有識者委員会では、今後のスケジュールと検討体制、これまでの検討状況及び国営追悼・祈念施設(仮称)の基本設計案等を報告しました。

今後、今年9月を目途に、復興祈念公園全体の基本設計をまとめることとしております。

○ 高田松原津波復興祈念公園とは

東日本大震災津波が、広域にわたり甚大な被害が生じた未曾有の大災害であることに鑑み、「復興の象徴」として、犠牲者への追悼と鎮魂や、日本の再生に向けた復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すこと等を目的とするものです。

国、岩手県、陸前高田市の連携により整備を予定しています。



国営追悼・祈念施設(仮称)及び周辺区域の鳥瞰イメージ

○ 高田松原津波復興祈念公園の計画区域

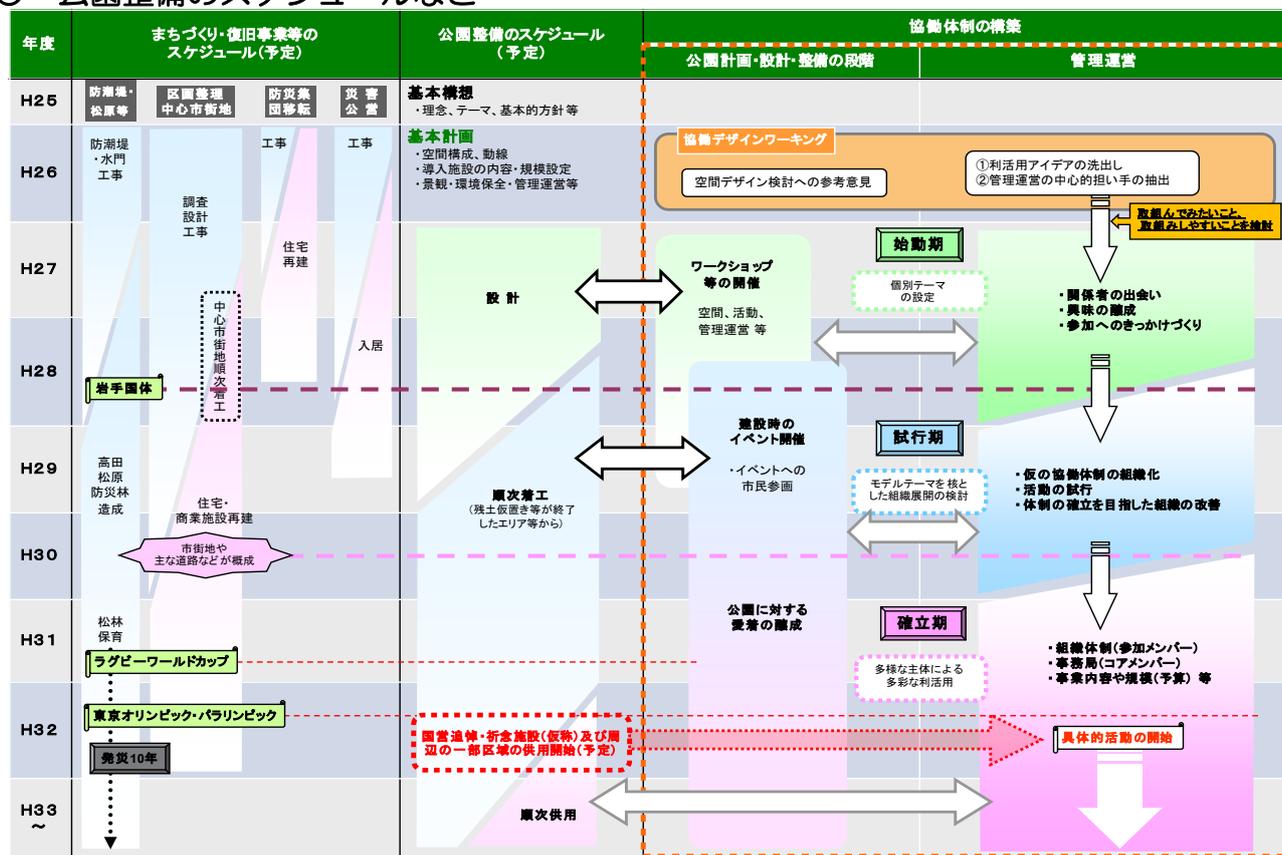
計画区域は約 130ha で、この中には、国が整備する「国営追悼・祈念施設(仮称)」に加え、陸前高田市の総合公園として供用されていた「高田松原公園」の機能を再生する区域も含まれます。

2020年度(平成32年度)に、「国営追悼・祈念施設(仮称)」及び周辺の一部区域を供用開始し、その後、順次、残りの区域を供用していく予定です。



高田松原津波復興祈念公園の計画区域

○ 公園整備のスケジュールなど



【参考】高田松原津波復興祈念公園有識者委員会について

国、県及び陸前高田市では、平成27年8月に東京工業大学大学院社会理工学研究科教授の中井検裕委員長をはじめとする学識経験者等で構成する委員会を設置し、復興祈念公園の計画・設計の検討を行うこととしています。

※高田松原津波復興祈念公園については県のホームページでもご覧頂けます。

<http://www.pref.iwate.jp/toshigesui/kouen/index.html>

東北「道の駅」スタンプラリー2016 開催のお知らせ

道路環境課

平成 28 年度東北「道の駅」スタンプラリーを次のとおり開催しています。



スタンプラリー参加のルール

まずは道の駅でスタンプブックをゲット!!

道の駅にて1冊200円(税込)で販売中です。



道の駅の開館時間中に押印!!



スタンプを集めて素敵なプレゼントに応募!!

参加駅数は全150駅※(東北管内)

※道の駅「高田松原(岩手県)」、「ならば(福島県)」は休業中です。

商品応募期間

2016年4月23日(土)~2017年1月15日(日)

完走証明書申込期間(144駅以上完走)

2016年4月23日(土)~2018年1月15日(月)

豪華賞品の一部はご覧の通りとなっております。

賞品1 決められた数のスタンプを集めて応募

賞品応募期間 2016年4月23日(土)~2017年1月15日(日)

完走賞

スタンプ144個以上
抽選で200名様
東北「道の駅」共通特産品引換券4,000円分を遡呈

200名

「道の駅」賞

スタンプ70~143個
抽選で200名様
東北「道の駅」共通特産品引換券3,000円分を遡呈

200名

「michi-co」賞

スタンプ40~69個
抽選で250名様
東北「道の駅」共通特産品引換券2,000円分を遡呈

250名

チャレンジ賞

スタンプ5~39個
抽選で300名様
東北「道の駅」共通特産品引換券1,000円分を遡呈

300名

賞品2 スタンプ1個と道の駅1,000円分のレシートで応募

賞品応募期間 2016年4月23日(土)~2017年1月15日(日)

津軽海峡フェリー賞

4名様
青森~函館航路 片道ペア乗船券
(スタンダードまたは2等/大人2名・6メートル未満の乗用車1台)

4名

JTB賞

10名様
1枚の切符の購入から海外旅行まで
ご利用いただけるJTB旅行券10,000円分

10名

服部コーヒーフーズ賞

20名様
60周年記念 レギュラーコーヒー3缶詰合せ

20名

ラグノオ賞

10名様
パティシエのりんごスティック

10名

さらに 144駅以上完走すると「完走証明書」がもらえる!!

みごと全駅完走された方には、もちろん全員に完走証明書とステッカーをプレゼント!

完走証明書申込期間 2016年4月23日(土)~2018年1月15日(月)

※期間中にオープンした道の駅も合わせて、144駅以上とします。

道の駅の営業時間が、やむを得ず変更になる場合がございます。営業時間については、各道の駅にお問い合わせください。



津軽海峡フェリー賞

4名様

青森~函館航路 片道ペア乗船券

(等級:スタンダードまたは2等 大人2名・6メートル未満の乗用車1台)

北の大地へマイカーで上陸。北海道の道の駅へGO!!



津軽海峡フェリーは、青森~函館を1日8往復、大間~函館を1日2往復運航しております。青森~函館は3時間40分、大間~函館は90分、最短ルートで青森と函館をつなげる「海の道」として24時間毎日運航中です。東北「道の駅」の次は、「海の道」を渡って北海道へ上陸!!

※有効期間:2017年12月28日まで(6月1日~20日を除く)。
※お車なしの方でもご利用いただけます。

商品応募の条件など詳細は、東北道の駅連絡会ホームページをご確認ください。

<http://www.michinoeki-tohoku.com/stamprally2016/index.html>

県内の道の駅に関する情報は、岩手県「道の駅」連絡会ホームページをご確認ください。

http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/yakudati/mitinoeki/H23_12_13/index.html

